



四 気 折 々

川越町立川越中学校
学校だより 第4号 yyyyy
令和6年 4月16日
・令和5年度学校教育ビジョン
・「子どもたちが主体となる活動」

四気=川越中学校訓 「 やる気 ほん気 こん気 げん気 」

令和6年度川越中学校教育ビジョン

学校教育目標 『 豊かな心 』を土台とした「確かに生きる」力の育成のもと

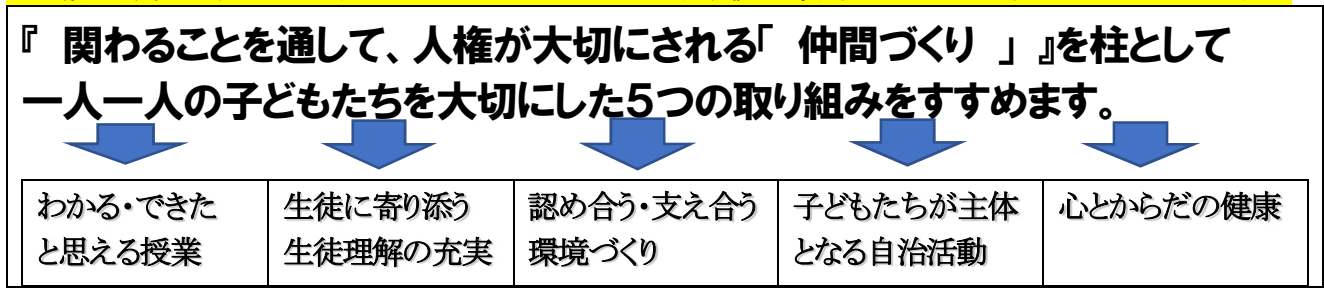
- 【目指す生徒像】・自分を大切にする・他者を大切にする・粘り強くやりきる 生徒
- 【目指す学校像】・人を大切にする・安全で安心できる・地域や保護者とともにある 学校づくりを目指します

『 関わることを通して、人権が大切にされる「仲間づくり」 』を柱として
一人一人の子どもたちを大切にしたい5つの取り組みをすすめます。

わかる・できた と思える授業	生徒に寄り添う 生徒理解の充実	認め合う・支え合う 環境づくり	子どもたちが主体 となる自治活動	心とからだの健康
<ul style="list-style-type: none"> ・学び合う・教え合う授業づくり ・誰も一人にしない授業づくり ・日常的な授業改善 ・指導と評価の一体化 ・ICT機器の活用の日常化 ・家庭学習の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・心に寄り添う生徒指導 ・個に合った教育支援 ・日々の教育相談の充実 ・個に応じた進路指導 ・家庭・地域・関係機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が安心して自分の想いを伝えることができる居場所づくり ・生徒間交流ができる場の設定 ・いじめ差別を許さない心の育成 ・自尊感情・自己肯定感の高揚 ・道徳教育とキャリア教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動の充実と活性化 ・室長会・班長会の充実 ・学校生活づくりへの参画 ・主体的な態度の育成 ・生徒主体の実践場面の設定 ・地域活動、ボランティア活動への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動や校外活動を通じたからだづくりと心づくり ・地域とともにある食育教育推進 ・いのちの大切さを考える講演会 ・心とからだに関わる教育相談 ・読書活動の推進(図書室の利用)

令和6年度、大切にしたいこと…

意欲や自制心、誠実さ、やり抜くあきらめない力、思いやり、優しさなどの「非認知能力を高めること」。そして、「関わることを通しての仲間づくり」。この取り組みを通じて周囲の仲間のこと、自分のことをしっかりと考えるきっかけとする。それが自分の心の成長(豊かな心)につながる。**豊かな心を土台として、日々の生活や将来に向けての『確かに生きる』ための力を、中学校3年間を通しての身につけていきます。**



令和2年度から2年間、川越中学校が県の指定を受けて取り組んできた「人権教育研究指定校事業」。「子どもたちが本音を話すことができる仲間づくり」を川越中学校の人権教育の大切な視点として全職員の共通認識として取り組んできました。これを川越中学校の独自性を生かしての取り組みとして5年目を迎える今年度、**大切にしてきたことは、『日常における仲間づくりの取り組み』**です。学校生活の日常的な取り組みの中で、私たち教職員が年間を通して意図的に取り組みを継続していきます。昨年度から上記の5つの取り組み重点を、理由付けと価値づけをして考えました。教育活動に対して**川越中学校が大切にしている『関わることを通して、人権が大切にされる「仲間づくり」』**を活動の中心に置くことによって、その5つの活動は、すべてが「一人一人の子どもたちを大切にしたい具体的な(取り組むべき内容を具体化させながら)取り組みへとつながります。これが令和5年度から重点的に取り組んできた項目です。

教科授業だけではなく、日々の学校生活はすべてが『学びの場』であり、その『学びの場』では関わることを通して人権を大切にしたい「仲間づくり」をすすめます。日々の学校生活の学びの場で人権感覚を磨き、自分の変容につなげていきます。「豊かな心」の育成につながり、「確かに生きる力」の育成もつながると考えます。

令和6年度 学校教育ビジョン 『子どもたちが主体となる自治活動』

- 生徒会活動の充実と活性化。
- 室長会・班長会の充実。
- 学校生活づくりへの参画。
- 生徒主体の実践場面の設定 など・・・

すべては、「関わることを通して、人権が大切にされる「仲間づくり」があってこそ。そして、学校教育ビジョン「粘り強くやりきる」生徒の育成にもつながります。

☆ 川越中学校は先輩の姿から学べる学校です！☆
4月15日(月)『**令和6年度 前期の認証式**』を行いました。(4/15 川中HPより)



生徒と先生と一緒に創る、新しい川越中学校への第一歩。みんな力強く前を向いて強い意志を持って新しい学校づくりがはじまりました。先輩の姿から今日も後輩は学びました。認証式が始まる前は、全校集会時の整列の仕方をしっかりと練習・確認しました。この取り組みが礎(いしずえ)となって・・・。全校にて室長・専門委員会の「認証式」が体育館にて行われました。令和6年度入学式以来、このように体育館で全校が一斉に集い、全校集会形式での取り組みを行うのは今日で3回目になります。先週は、生徒会本部役員が主催し、企画した「対面式」「部活動紹介」も行われました。今日は「認証式」。

全校一斉にできるメリットは、中学校に入学したばかりの1年生のみなさんが、全校で活動するときの動きの「見本」となる指針が3年生、2年生の先輩であること。先生たちが教え、伝えるのではなく、先輩が行動と姿勢で後輩を引っ張ることができることです。始業式、入学式、対面式、そして「認証式」。全校集会指導担当の田中先生からは、整列や集合隊形などの流れの確認をするのみ。あとは最上級生の3年生が先頭に立って、並び方の確認をしたり前後左右の間隔の確認も行いました。やっぱり3年生・2年生の動きや行動が1年生の後輩の見本となって、川越中学校は「先輩の姿から学べる学校です」という伝統につながっていくのだとあらためて思いました。

整列がしっかりとできた後は「認証式」がはじまりました。川越中学校の全校生徒460名の代表として、室長26名、代議員26名、専門委員会143名。立派に認証状を受け取りました。みんな力強く前を向いて。これからが本格的な活動のスタートです。強い意志と思いを継続させ、新しい川越中学校の学校づくりを先生たちと一緒にすすめましょう！期待しています！放課後には、「第1回専門委員会」と「各学年の室長会」が開催されました。専門委員会が行われた各教室には、生徒会本部役員のメンバーが分担して、各委員会の話し合いの内容をメモし、明日の生徒議会につなげてくれる準備もしてくれました。川越中学校の専門委員会組織には、『生徒会執行部を本部』として、「代議員」、「生活委員会」、「美化委員会」、「健康委員会」、「放送委員会」、「福祉委員会」、「図書委員会」の7つの組織があります。専門委員会の翌日には、『生徒議会』として生徒会本部役員、代議員、各委員会委員長が集合し、川越中学校をより良くしていくための意見交換や話し合いを行ないます。また、体育祭や文化祭などの学校行事についても話し合います。今日は第1回目として、委員長・副委員長決め、委員会の活動方針を確認したり、学年ごとの活動目標も話し合いました。写真のように放送委員会では明日からの昼の放送に向けて館内放送にて実体験をしながら学びました。さあ、本格的な委員会活動や各学年・学級での係の仕事もどんどん始まっていきます。『自覚と責任』を持って取り組んでいきましょう！よろしくお願いします